

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

生涯学習課

「地域のお宝」を学び地域活動を担う高校生育成事業 2,760千円

〔事業目的及び概要〕

地域への愛着と誇りを持って地域活動に参加し、地域の魅力を発信できる高校生を育成することを目的とし、自然・史跡・食・伝統芸能などの地域資源の魅力を、学びと体験を通じて再認識し、それらに関連付けて紹介する取組の企画・実践及び発表を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 「地域のお宝物語」の企画

ア 実行委員会の設置(12市町村の実行委員会への委託)

- 委員構成 高校生、若者・シニア世代、市町村教育委員会職員、企業・NPO、大学等の職員
- 委託募集 4月下旬～6月上旬
- 委託決定 6月上旬～6月下旬
- 委託期間 委託決定日～平成31年3月上旬

イ 委託内容

- 実行委員会の開催
 - 回数 年3回程度
 - 内容 「地域のお宝物語」の企画の方向性や日程等についての会議
- ワークショップの開催 ※活動は土日、祝日、長期休業中
 - 期日 未定(6月～11月、6回程度)
 - 対象 高校生(リーダー)、小・中学生、若者・シニア世代
 - 内容 「地域のお宝物語」の企画のための勉強会、研修会、体験活動、まとめ

(2) 企画実践に向けた研修・交流会

- 期日 7月～8月
- 場所 各地区3会場(未定)
- 対象 12市町村の高校生、引率の実行委員(大人)
- 内容 「地域のお宝物語」の企画方法を学ぶ研修と高校生・中学生による情報交換

(3) 取組成果の中間発表会

- 期日 H31/2/2(土)
- 場所 県総合社会教育センター
- 対象 12市町村の代表の高校生、引率の実行委員(大人)
- 内容 各取組の中間発表を行う

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業 1,925千円

〔事業目的及び概要〕

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図るため、市町村の社会教育主事等が中心となり、首長部局、企業・民間団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 地域課題の解決【2地区 主管：関係教育事務所】

ア 事業の企画

- 内容：市町村の社会教育主事・社会教育関係職員等が中心となり、首長部局(まちづくり、地域

づくり担当部局)、NPO団体、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり地域の良さを生かしたりするための事業を企画するワークショップを実施する。ワークショップにおいては、講師による講義及び指導助言や事例発表者による発表内容をもとに、実施可能な事業について話し合い、実際に実施する事業を決定する。

○回数：2地区×3回程度

イ 事業の実践

○内容：「事業の企画」で企画した事業等について、実行委員会に委託して実践する。

○実行委員会：各市町村社会教育関係職員等、首長部局職員、NPO団体、地域づくり団体等

(2) キャリア教育の推進【青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

委託内容

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

○内容：学校と企業、その他関係者がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域における未来をつくる人財像を共有するため、各地区においてネットワーク会議を開催し、学校が求める支援の内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、アドバイザーによるコーディネートのもと、意見・情報交換を行う。

○構成：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員、PTA、企業、商工団体、行政、地域学校協働本部に関わる方々

○実施日：県内6地区で1回

イ 模擬授業等の開催

○内容：学校における教育活動の充実のため、地元企業・NPO等が実施している教育支援活動(出前授業・インターンシップ・体験活動等)の具体的な取組を紹介や企業による模擬授業等を実施する。

○実施日：県内6地区で1回

○対象：教職員、学校支援ボランティア、地域学校協働本部関係者等

(3) 市町村社会教育主事等専門研修【主管：県総合社会教育センター】

○内容：県外大学教授級を招き、地域学校協働活動における社会教育主事の果たすべき役割等について学ぶ。

○対象：市町村の社会教育主事及び社会教育関係職員

○内容：講義、グループ演習

○日時：5/18(金) 10:00～16:00

○回数：1回

子どもの読書活動推進事業 2,276千円

【事業目的及び概要】

「青森県子ども読書活動推進計画(第三次)」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【事業内容】

(1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい本の紹介文を募集し、秀逸な作品を選び表彰するとともにホームページ等で紹介する。

(2) 子どもの読書活動推進大会の開催

子どもの読書活動に係る関係者が情報の共有を図り、子どもの読書活動の推進方策を探る。

○開催期日・会場

7/27(金)八戸市福祉公民館

(3) 乳幼児から小学生までの読書活動の推進

平成29年度に改訂した啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」(第6版)を印刷し、研修会やブックスタート等での活用を促進する。

いじめ防止キャンペーン推進事業 7,623 千円**〔事業目的及び概要〕**

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容としたCM原作及び標語を募集し、その優秀作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

〔事業内容〕**(1)いじめ防止CM原作コンクール**

高校生から、いじめ防止を呼びかけるテレビCMの原作を募集し、優秀作品 6 本程度を選定、表彰する。

○募集期間 4月下旬～5月下旬

(2)いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀作品 6 本程度を選定、表彰する。

○募集期間 6月上旬～9月上旬

(3)テレビCM放映

CM原作及び標語コンクールの優秀作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放 3 局においてテレビ放映する。

○4/4～4/13、5/7～5/18 平成 29 年度制作いじめ防止CM(標語コンクール)

○8月中旬～9月上旬 平成 30 年度制作いじめ防止CM(原作コンクール)

○1月中旬～2月上旬 平成 30 年度制作いじめ防止CM(標語コンクール)

障害者青年学級開設 1,000 千円**〔事業目的及び概要〕**

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

○開設場所：県内特別支援学校(15校)

○開設時間：各3日間 8時間程度

○対象：障害のある青年等

○学習内容：(1)社会参加学習

(一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)

(2)スポーツ体験交流

障害者家庭教育学級開設 679 千円**〔事業目的及び概要〕**

障害のある児童生徒の父母等保護者の家庭教育支援を目的として、特別支援学校に家庭教育学級を開設する事業である。

〔事業内容〕

○開設場所：県内特別支援学校(20校)

○開設時間：4日間 10時間程度

○対象：障害のある子どもを持つ保護者等

○学習内容：児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

子どもたちの成長を支える「地域のチカラ結集」推進事業 5,562 千円**〔事業目的及び概要〕**

地域学校協働活動の促進及び地域での家庭教育支援の充実を図ることを目的として、地域学校協働活動に係る教職員研修、地域学校協働活動推進員等の養成及びハンドブックの作成等を行うとともに、学校と家庭教育支援団体等との連携・協働の促進に係る研修会及びモデル地域における実践活動を行う事業である。

[事業内容]

【取組1】地域のチカラで支える地域学校協働活動の促進

地域学校協働本部の構築に新たに取り組む、または活動を更に活発にしたい市町村に対し、地域学校協働活動の環境整備を促進する。

(1) 地域学校協働活動の推進に係る研修の実施

ア 学校と地域を結ぶ窓口となる教職員研修【主管:県生涯学習課】

地域学校協働活動の理解と今後の地域と学校の連携・協働について、小・中学校教職員の理解を図る。

- 期日・会場：東青地区 8/ 3(金) 県総合社会教育センター
- 西北地区 8/30(木) 五所川原市民学習情報センター
- 中南地区 8/ 8(水) 弘前市総合学習センター
- 上北地区 7/25(水) 公立小川原湖青年の家
- 下北地区 7/24(火) むつ来さまい館
- 三八地区 7/12(木) 楽楽ホール(南部町)

○対象:公立小・中学校の学校と地域を結ぶ窓口となる教職員等【学校1名悉皆】

イ 地域学校協働活動推進員等養成講座の実施【主管:各教育事務所】

地域学校協働活動の推進のため、地域学校協働活動推進員等(地域コーディネーター)が未配置の小学校区における地域学校協働活動推進員等を養成する。

- 期日・会場：東青地区 8/21(火) 県総合社会教育センター
- 西北地区 9/11(火) 五所川原市民学習情報センター
- 中南地区 9/ 6(木) 黒石市産業会館
- 上北地区 9/19(水) 七戸中央公民館
- 下北地区 8/28(火) むつ合同庁舎
- 三八地区 9/10(月) 八戸合同庁舎

○対象:地域学校協働活動推進員等を担ってくれる地域住民

○回数:6地区各2回

ウ 「地域のチカラ結集」合同ワークショップの実施【主管:県生涯学習課】

地域学校協働活動関係者が一堂に会してワークショップを行うことにより、関係者の資質向上とネットワークを形成する。

- 期日・会場：東青地区 1/11(金) 県総合社会教育センター
- 西北地区 11/15(木) 五所川原市民学習情報センター
- 中南地区 12/13(木) 弘前市中央公民館相馬館
- 上北地区 11/ 9(金) 七戸中央公民館
- 下北地区 1/22(火) むつ来さまい館
- 三八地区 11/12(月) 南部町総合保健福祉センターゆとりあ

○対象:地域連携担当教員、地域学校協働活動推進員等、学校支援活動関係者、放課後子ども教室関係者、家庭教育支援関係者、市町村教育委員会職員等

○回数:6地区各1回

(2) 地域学校協働活動ハンドブックの作成

当課を事務局とする編集委員会を組織し、市町村における地域学校協働本部の立ち上げや地域学校協働活動の充実を図るためのハンドブック(手引書)を作成する。

【編集委員会】

○構成:学識経験者、教職員(小・中学校)、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)、市町村教育委員会関係職員、各教育事務所主任社会教育主事

○回数:年3回(9・12・2月)

【取組2】地域のチカラで家庭を支える新たな連携・協働の促進

学校と家庭教育支援団体等が連携・協働し、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、健康福祉機関等の職員の参加による連絡会議を開催する予防的・早期対応型支援モデルに取り組んでいく。

(1)「地域のチカラで家庭を支える新たな連携・協働」スタートアップ研修会

学校と家庭教育支援団体等の連携・協働について共通理解し、支援の仕組みや体制づくりのノウハウ等について研修を行う。

- 期日・会場：八戸会場 5/31(木) 八戸市公民館
青森会場 6/1(金) 県総合社会教育センター
むつ会場 6/2(土) むつ市中央公民館

○対象：市町村教育委員会、家庭教育担当者、SC、SSW、家庭教育支援団体関係者、健康福祉関係、教職員等

(2)モデル地域における取組の実践

県内6地区の市町村に実行委員会を設置し、委託により学校と家庭教育支援団体、健康福祉機関等の連携・協働実践モデルの構築に取り組む。(2ヶ年継続実施予定)

ア 実行委員会の構成

市町村教育委員会（事務局）、学識経験者、担当学校長、健康福祉関係者、家庭教育支援団体代表者等7名以内

イ 委託内容

- (ア) 実行委員会の開催：年2回程度
- (イ) 連絡会議等の開催：年4回程度

ウ 委託期間

平成30年9月から平成31年3月まで

地域学校協働活動推進事業(県事業)	2,115千円
-------------------	---------

【事業目的及び概要】

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を推進することを目的として、より多くの地域住民等の参画による多様な活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

【事業内容】

(1)地域学校協働活動推進委員会の開催

県内の地域学校協働活動の推進について、総合的な在り方の検討を行うとともに、全児童の放課後対策の諸問題について協議し、各市町村の放課後子ども総合プランの推進を支援する。

ア 地域学校協働活動推進委員会の開催(年2回)

○委員数：15名(行政関係者(教育委員会、福祉部局)、学校関係者、PTA関係者、学校支援関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、学識経験者等)

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議(年2回)

○対象：市町村放課後子ども総合プラン担当者(教育委員会及び福祉部局)

(2)研修会の実施

ア 地域学校協働活動推進員等研修【主管：青森県総合社会教育センター】

地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るとともに、他の事業関係者との情報交換・情報共有を図る。

- 日時及び会場：5/25(金)10:00～15:00 県総合社会教育センター
6/1(金)10:00～15:00 七戸中央公民館

○対象：地域学校協働活動推進員、放課後子ども教室コーディネーター及び地域学校協働活動本部

のコーディネーター等(以下、地域学校協働活動推進員等)

イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修【主管:各教育事務所】

○目的:放課後対策事業等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催する。

・期日:前後期各1日(全12回)

地区	前期予定	後期予定
東青	6/13(水)	9/20(木)
西北	6/8(金)	10/4(木)
中南	7/3(火)	9/12(水)
上北	6/12(火)	10/2(火)
下北	6/12(火)	10/17(水)
三八	5/25(金)	10/2(火)

・対象:地域学校協働活動推進員等、教育活動推進員及び教育活動サポーター、放課後児童指導員等、土曜学習推進員及び土曜学習サポーター等

ウ 統括的な地域学校協働活動推進員の配置及び学生サポーターの登録

県に統括的な地域学校協働活動推進員を配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、学生サポーターの募集、登録等を行う。

放課後子ども教室推進事業費補助 61,989千円

【事業目的及び概要】

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する市町村に対し、また、子どもたちの土曜日等の教育活動を充実することを目的として、民間団体等の多様な経験や技能を持つ外部人財等の参画により、特色・魅力のある教育プログラムを実施する「外部人材を活用した教育支援活動」の取組を実施する市町村に対し、県が補助をする事業である。

【事業内容】

「放課後子ども教室」及び「外部人材を活用した教育支援活動」の取組を行う市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

○放課後子ども教室

予定 22市町村 89教室

平内町 外ヶ浜町 今別町 深浦町 中泊町 鶴田町 弘前市 平川市 藤崎町 大鰐町
十和田市 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市 大間町 風間浦村 佐井村
三戸町 五戸町 階上町

○外部人材を活用した教育支援活動

予定 3市町 6箇所

今別町 中泊町 弘前市

地域学校協働活動推進事業費補助 6,700千円

【事業目的及び概要】

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動(地域学校協働活動)を推進することを目的として、地域学校協働活動に取り組む市町村に対し、県が補助をする事業である。

【事業内容】

地域学校協働活動及び今後の地域学校協働活動の契機となる学校支援活動等の取組みを行う市町村(中核市の青森市及び八戸市を除く)に補助金を交付する。【国庫補助 1/3、県補助 1/3、市町村負担 1/3】

予定 9 市町 33 本部 (33 小学校、12 中学校)

今別町 五所川原市 鱒ヶ沢町 中泊町 板柳町 平川市 三沢市 横浜町 五戸町

あおもり家庭教育支援総合事業 2,766 千円

【事業目的及び概要】

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育を行うことが一層困難になっていることを踏まえ、保護者が安心して家庭教育を行う事を目的として、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、保護者の学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

【事業内容】

(1) 家庭教育支援推進協議会の開催

今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、これに対応した学習機会の提供や支援者の活動を推進する研修等の事業等について協議する。

○委員：有識者、家庭教育支援者など 10 名以内

○回数：年 3 回

(2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成

家庭教育の学習を推進するため、「あおもり親楽プログラムテキスト作成委員会」を設置し、あおもり家庭教育アドバイザー等が活用する家庭教育の学習テキストの内容について協議し、改訂等して作成する。なお、作成委員会は、委員を家庭教育支援推進協議会より 4 名選出し、年 2 回実施する。

○対象：PTA、学校、市町村、市町村教育委員会等、あおもり親楽プログラムを活用した講座や研修会等を実施する団体及びあおもり親楽アドバイザー等の家庭教育支援者

○体裁：A4 判小冊子 1,500 部

(3) 親の学びを支援する「あおもり家庭教育アドバイザー」の派遣

今日的課題に対応した家庭教育の学習を推進するための「あおもり親楽プログラム」を活用した講座、研修会で進行役を行う「あおもり家庭教育アドバイザー」を PTA 等の要請に応じて派遣し、地域における家庭教育支援の活性化を図る。

○対象：PTA、学校、市町村、市町村教育委員会等、あおもり親楽プログラムを活用した講座や研修会等を実施する団体

○派遣回数：20 回

○派遣延べ人数：35 人

(4) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成(県読書団体連絡協議会に委託)

幼稚園等で実施される読み聞かせ研修会等で講師を担当する「親子ふれあい読書アドバイザー」を、県内 6 地区で養成する。

○対象：教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等読み聞かせに興味がある県民

(5) 家庭教育応援フェスタの開催

多くの人が集まる場所において、乳幼児期の子を持つ親やその家族を対象に子どもの生活習慣等について考えてもらう機会となるトークセッションの開催、家庭教育支援活動に関する関係団体の活動紹介や、実際に親子で体験できるブースの設置等、健康福祉部などの関係部局や家庭教育支援団体等と連携して行うことにより、家庭教育について理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高める。

○対象：乳幼児期の子を持つ親やその家族等、家庭教育・子育てに興味関心のある県民

○期日：10/8(月)

○場所：弘前市民文化交流館

(6) 祖父母向け孫育て研修会の開催(青森県地域婦人団体連合会に委託)

家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母が読み聞かせるのに適したおすすめの絵本の紹介や絵本の選び方、絵本を通じた孫との交流や絵本の読み聞かせ方、実演等を通して、絵本が祖父母と孫を繋ぐよい媒体であり、子どもの発達に有益である事を研修する。

○対象：孫等をもつ祖父母、家庭教育支援に興味のある方等

○場所：県内 2 地区

(7) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる人々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、市町村及び家庭教育支援者等のネットワークを広げるネットワーク形成研修会を開催する。

○対象：市町村教育委員会家庭教育担当者、家庭教育支援チーム、家庭教育支援・子育て団体、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座受講者、あおもり家庭教育アドバイザー登録者、児童福祉関係者、幼稚園・保育所職員、小中高等学校教職員、PTA関係者、家庭教育支援に携わっている方、家庭教育支援に興味のある方等

○期日：H31/1/8(火)

若者の社会参加促進事業 812 千円

〔事業目的及び概要〕

若者の社会参加を促進することを目的に、若者団体等が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。また、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、自立を支援する宿泊体験活動を実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) 若者の社会参加促進事業プランの実践

公民館等の社会教育施設を拠点に、若者団体等の地域活動への参加や若者同士の関わり、地域のつながりを形成するモデル事業プランを実施する。

ア 事業プランの計画立案(3地区各1事業)

※書類審査を行い、3つの事業プランを選出する。

イ 選出事業プランの実施(若者団体等に委託)

ウ 実施後の事業プランの周知

(2) 困難を抱える子ども・若者支援

高等学校(通信制)に在籍している不登校生徒やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者(16歳～概ね40歳)10名を対象に、1日(日帰り)及び1泊2日の自然体験・交流塾を、八戸地区及び弘前地区でそれぞれ実施する。

ア 第1回自然体験・交流塾

○期日：〔八戸地区〕7/7(土)、〔弘前地区〕7/21(土)

○開催場所：〔八戸地区〕種差少年自然の家、〔弘前地区〕岩木青少年スポーツセンター

○内容：アイスブレイク、野外炊事、振り返り等

イ 第2回自然体験・交流塾

○期日：〔八戸地区〕8/18(土)～19(日)、〔弘前地区〕9/15(土)～16(日)

○開催場所：〔八戸地区〕種差少年自然の家、階上岳等〔弘前地区〕岩木青少年スポーツセンター、りんご園等

○内容：社会(就労)体験活動、宿泊、登山または長距離ウォーキング等

ウ 自然体験・交流塾協力団体等連絡会議

第1回及び第2回自然体験・交流塾終了後に、臨床心理士と支援団体等により参加者の情報共有をするとともに成果と課題、活動内容等について話し合う。

○開催時期：各地区第1回開催前、第2回開催前及び終了後(各地区3回)

○開催場所：各地区若者サポートステーション等

総合社会教育センター

大学生とカタル！キャリアサポート形成事業 1013 千円

〔事業目的及び概要〕

中学生及び高校生が自らの夢に向かって主体的に行動できるように、コミュニケーション、コーチング等の研修を修了した大学生からの働きかけにより、中・高校生のやる気や意欲を引き出し、チャレンジする心を育むためのワークショップを計画的に実施する事業である。

〔事業内容〕

(1) ワークショップ「キャリアサポ」、「Jr. キャリアサポ」の実施

中学生及び高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つけ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

- ア 時期：6月～3月
- イ 対象校：県内高等学校20校、中学校1校
- ウ 対象生徒：高校生約3,000名、中学生約100名
- (2) キャリア形成の支援
 - ア 関係者研修会の開催
 - (ア) 実施校担当者研修会
 - (イ) 大学生会議
 - イ 大学生研修会の実施
 - (ア) 基本研修
 - (イ) ワークショップ演習
 - (ウ) 模擬演習(合同リハーサル)
 - (エ) 応用研修
 - ウ パイロット事業内容の検討及び研修会の実施

高校生スキルアッププログラム推進事業 217千円

〔事業目的及び概要〕

高校生の知識や経験の幅を広げ、社会の変化に柔軟に対応し、たくましく生きるための様々なスキルの向上を図るため、学校外における学習への積極的な取組を推進する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 高校生スキルアッププログラムの運営
- (2) 高校担当教員対象研修会の実施
- (3) 評価サービス
- (4) 県民カレッジとの連携

青森で生きる未来人財育成事業 1,406千円

〔事業目的及び概要〕

青少年の自己肯定感や主体性を高めることを目的に、講座(中学生・高校生・大学生対象)と、演習「寺子屋」(小学生・中学生・高校生・大学生対象)を実施する事業である。特に、演習「寺子屋」は、地域の公民館・児童館を会場とし、異年齢交流(学習やレクリエーション)などの企画立案・運営を行い、講座で学んだことを実践する機会とする。

〔事業内容〕

- (1) 講座
 - ア 対象
 - (ア) 対象地域 東青地域(青森市)、上北地域(七戸町)、三八地域(八戸市)
 - (イ) 対象者 上記地域に住む青少年(小学生・中学生・高校生・大学生)各30名 計90名
 - イ 内容
 - 第1講座 コミュニケーション能力を高める講座
 - 第2講座 自分や仲間の良さを知る講座
 - 第3講座 地域の小学生との交流活動を企画・実践する講座①
 - 第4講座 地域の小学生との交流活動を企画・実践する講座②
 - 第5講座 これまでの実践活動等を振り返り、発表する講座
- (2) 演習(寺子屋)
 - ア 公民館(月1回程度日曜日)
 - (ア) 対象 小学生・中学生・高校生・大学生
 - (イ) 内容 講座で学んだ中学生・高校生・大学生が内容を企画し、小学生と一緒に勉強したり、レクリエーションを行ったりする。
 - イ 児童館(月1回程度土曜日)
 - (ア) 対象 中学生・高校生・大学生
 - (イ) 内容 講座で学んだ中学生・高校生・大学生が、児童館にいる小学生と一緒に活動したり、レクリエーションを企画、運営したりする。

青少年異年齢交流モデル事業(寺子屋ありす)**【事業目的及び概要】**

青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢集団における交流活動をとおして、主体的に関わり、相互に学び合い、成長できる仕組みづくりを行うモデル事業である。

【事業内容】

- (1) 対象：青少年(小学生、中学生、高校生及び大学生)
- (2) 期日：通年
- (3) 場所：県総合社会教育センター
- (4) 内容：○大学生、高校生による小学生、中学生への学習支援、交流活動の場「寺子屋ありす」を開設する。
○異年齢交流によるモデル事業として県内各地への普及を図る。

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業**【事業目的及び概要】**

青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組む方策の研究を目的として、高校生・大学生等を中心に社会参加活動・創作活動を行っている団体をモデル団体に指定し、支援する事業である。

【事業内容】

- (1) 団体募集(高校生や大学生、専門学校生等を主体とした団体)
- (2) 団体の指定
- (3) 団体支援
 - ①発表の場の提供
 - ②情報発信の専用掲示スペースの設置
 - ③ミーティング等を行うスペースの用意
 - ④所報「響」やHP等での活動状況の紹介
 - ⑤社会教育主事等による情報提供とアドバイス
 - ⑥名義使用の許可
 - ⑦研修室等使用料の減免

地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修 851千円**【事業目的及び概要】**

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子供を育むために、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐ「教育支援活動コーディネーター」の育成及びキャリア教育関係者のスキルアップをめざした研修を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 教育支援活動コーディネーターの育成及びスキルアップ研修の実施
 - 期日・場所：上北地区 7/24(火) 三沢市国際交流教育センター
東青地区 7/25(水) 県総合社会教育センター
 - 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター等
 - 講師：NPO法人みらいずworks 代表理事 小見 まいこ
- (2) 地域資源を活用したキャリア教育推進フォーラムの開催
 - 期日：10/18(木)
 - 場所：県総合社会教育センター
 - 対象：教育支援活動推進員、学校支援コーディネーター、企業・NPO等キャリア教育担当者、PTA関係者、教職員等
 - 講師：大正大学地域構想研究所 教授 浦崎 太郎
- (3) 「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 教育支援プラットフォーム「我が社は学校教育サポーター」ウェブサイトの管理・運営
 - 新規登録事業所の開拓、登録手続き

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座**【事業目的及び概要】**

新しい学習指導要領における「社会に開かれた教育課程」について理解を深め、その実現に向けて学校・家庭・地域が『チーム』として連携し、“未来の学校づくり・人づくり”に取り組む重要性と目的を共有し、具現化するための実践的な研修を行う事業である。

【事業内容及び結果】

- 期日：11/20(火)、11/21(水)
- 場所：県総合社会教育センター
- 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員等
- 内容

1日目 11/20(火)

- 午前：説明…「地域学校協働活動」について
講義…「社会に開かれた教育課程」の編成に向けて
実践発表…「子ども活動支援事業を通じた連携のかたち」
- 午後：事例発表…成果と課題～課題提起
演習①…「課題は何だ!?(グループワーク)」

2日目 11/21(水)

- 午前：事業説明…教育支援プラットフォームの事業説明
情報提供…公共施設による情報提供(ブース形式)
演習②…企業による模擬授業体験
- 午後：演習③…「モデルプランを作ろう!」(グループワーク)

家庭教育応援隊養成講座 809 千円**【事業目的及び概要】**

地域全体で家庭教育を支援する体制を整備するため、各地域で子育てを応援する家庭教育支援者やリーダーを育成する事業である。

【事業内容】

- 場所：県内2地区(東青地区・三八地区)
- 定員：各30名
- 対象：家庭教育支援者を目指す人及び活動中の人、家庭教育に興味のある人、読み聞かせ団体スタッフ、各市町村教育委員会家庭教育担当者等
- 内容
 - ・家庭教育支援講座・演習各7回

家庭教育支援動画制作普及事業 3,705 千円**【事業目的及び概要】**

子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを払拭し、家庭教育の重要性を訴えるため、家庭教育支援動画及び家庭教育支援テレビ番組を制作し、専門家等によって学術的に裏付けされた子育て情報を普及させ、県内における家庭教育の充実を図る事業である。

【事業内容】

- (1) 動画制作普及委員会の開催
動画制作普及委員会を設置し、制作内容の検討・評価等を行うとともに、動画の普及活動のあり方について検討する。
- (2) 学習教材(動画)の制作
 - ア 家庭教育支援動画(5分×8本、民間委託制作)
家庭教育の重要性を広く普及するため、様々な家庭等での取組を紹介する。
 - イ 家庭教育支援テレビ番組(15分×4本、民間委託制作)
- (3) ホームページでの動画配信やDVD等による各種研修会等での活用。
- (4) 市町村やPTA等から要望があれば、講師としてコンテンツを活用した講座を行う。
- (5) 動画を使った講座の活用方法について、展開例を作成する。

家庭教育相談事業 401 千円**【事業目的及び概要】**

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、乳幼児から高校生の保護者や家族を対象に、電話・メール等により、寄り添い型の家庭教育相談を行う事業である。

【事業内容】

- 対象：乳幼児から高校生までの子育て・孫育て中の親と家族
- 実施方法：電話相談・週3回 月・水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～16:00
メール相談 24時間受付
- 場所：青森県総合社会教育センター電話相談室
- 対応内容：発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について
- 相談体制：青森県総合社会教育センター教育活動支援課員及び家庭教育支援員が対応

県立図書館**子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業****【事業目的及び概要】**

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、市町村立図書館等に対して幼児、児童・生徒用図書セットを貸出する事業である。

【事業内容】

小・中学校の読書活動や幼稚園・保育所の読み聞かせ活動を支援するため、朝の読書用、父母が幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本、環境・福祉・食育等のテーマに沿った図書、ブックトーク実演のための図書の各セットを、希望する市町村立図書館等に貸出し、学校等に配本する。(4/1(日)～3/31(日))

高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業**【事業目的及び概要】**

高校生(特別支援学校高等部を含む。)の読書活動推進を目的として、高等学校図書館等に対してキャリア教育の充実、教育活動を支援する図書セットを貸出する事業である。

【事業内容】

高等学校の読書活動を支援するため、進路や生き方、職業選択に関する図書のほか、美術、音楽、スポーツなど高校生世代の興味の対象になりそうな図書セットを、希望する高等学校等に貸出・配本する。(4/1(日)～3/31(日))

梵珠少年自然の家**梵珠少年自然の家主催事業 1,640 千円****(1)看板事業****【事業目的及び概要】**

教育効果が高い企画及びその運営手法などを広く普及啓発していくことを目的として、発達段階に応じて施設の魅力を生かした活動プログラムを提供していく事業である。

【事業内容】

活動名	期日	対象	募集人員	内容
9歳チャレンジ・キャンプ ～ひとりできるぞ! ～	1回目 「創作で楽しもう」バージョン 7/21(土)～23(月) 2回目 「昆虫大好き」バージョン 8/10(金)～12(日)	9才児童 (小学3・4年生)	24名	出会いのつどい、交流ゲーム、家族への手紙書き、テント設営・撤収、おもちゃ作り、ベイトトラップ製作と設置、ホテル観察ハイク、松倉神社登山、キャンドルサービス、野外炊事、別れのつどい

活動名	期日	対象	募集人員	内容
夏の7days キャンプ ～岩手山からから梵珠へ この夏マウンテンバイクで走る170kmのチャレンジ!～	7/29(日) ～8/4(土)	小学5年生～ 中学3年生の 児童生徒	15名	出会いのつどい、マウンテンバイク 隊列走行トレーニング、マウンテン バイクによる移動型テント泊、野外 炊事、川遊び、キャンプファイヤー、 防災キャンプ体験、レールバイク・ トロッコ体験、燻製作り体験、花火 大会、思い出クラフト、別れのつどい
年長すくすくキャン プ ～キッズの大冒険～	8/25(土) ～26(日)	年長児	24名	はじめのつどい、仲間作りゲーム、 森の中で冒険遊び、テント設営、絵 本読み聞かせ、作って遊ぼう手作り おもちゃ、おわりのつどい
ぼんじゅ冬キャンプ ～冬山ハイキングを 楽しもう～	3/1(金) ～3(日)	小学4年生～ 中学2年生の 児童生徒	24名	出会いのつどい、仲間作り交流ゲー ム、冬山ハイキング、炊事、スノー チューブ滑走体験、思い出クラフト、 別れのつどい

(2)養成事業

【事業目的及び概要】

自然体験活動の普及を図ることを目的として、当施設の利用団体の引率者、高校生、大学生、青少年教育団体の関係者を対象に、基礎的技能の伝達や様々なプログラムを体験できる研修機会を提供し、自然体験活動の指導者及びボランティアを養成する事業である。

【事業内容】

活動名	期日	対象	募集人員	内容
在学少年宿泊指導者 研修	4/17(火) ～18(水)	平成30年度 利用予定団 体の引率者 及び今後利 用を考えて いる団体の 引率者		実技体験(野外・室内・創作の各プ ログラム)、宿泊体験、講義(宿泊 体験学習における安全管理)、説明 (施設利用に当たっての留意点)、 演習・実践(日課表作成)
自然体験活動ボラ ンティア入門セミ ナー	6/9(土) ～10(日)	高校生以上 (高校生、大 学生、青少年 指導者等)	30名	講義、野外活動、課題解決型野外 炊事、キャンプファイヤー、人間 関係作りワークショップ、リスク マネジメントに関する講義・演習、 施設ボランティア登録
自然体験活動ボラ ンティア実践セミ ナー (1)9歳チャレン ジ・キャンプ① (2)夏の7days キ ャンプ (3)9歳チャレン ジ・キャンプ② (4)年長すくすくキ ャンプ (5)ファミリーキャ	実施日は各事業 を参照	15歳以上 (高校生以 上)「自然体 験活動ボラ ンティア入 門セミナー」を受講 し、梵珠少 年自然の家 ボランティアとして登 録した者	定員は各 事業によ り異なる。 (4)と(7) は12～30 名。 (6)と (10)は全 登録者対 象、その 他は4～6 名。	実践セミナー対象10事業中2事業 以上を選択し、梵珠少年自然の家の ボランティアとして、自主企画 の実践や子どもたちの活動を支援 し、自己のスキルアップを図る。 さらに、選択事業の企画実践後に 企画及び運営に係る施設ボラン ティアとしてのふりかえりを行い、 次企画に向けた改善を図る。 上記の条件を満たした者には、修 了証を発行し、ぼんじゅマスター ボランティアとして後輩ボラン ティア育成に係る指導や支援及びボ

活動名	期日	対象	募集人員	内容
ンプ (6)スキルアップ研 修会① (7)自然体験ぼんじ ゅフェスタ (8)冬にとびだそう (9)ぼんじゅ冬キャ ンプ (10)スキルアップ 研修会②				ランティア企画会議や各地区で開 催するボランティアミーティング 時のアドバイザーとして活動でき る。 【対象事業での活動内容】 ・管轄グループの活動支援、グル ープメンバーの体調管理及び安 全管理 ・自主企画立案と運営 その他、主体的な事業の企画・ 運営を行うための実践的な知識 や技能の研修を行い、ボランテ ィアとしての資質の向上を図る ボランティアミーティングやプ ロ講師から指導法を学ぶスキル アップ研修もあわせて実施する。
④指導者養成 ～ぼんじゅ出前講 座～	10/15(日)～平成 31年3月 【各回即日】	幼稚園・保 育所及び 小・中学校、 特別支援学 校の小・中 学部、青少 年教育団体 (子ども会、 児童館、公 民館、放課 後子ども教 室等)	特に定 めない	団体が開催する各種行事(事業)に 出向き、自然の家が提供するプロ グラムの実施における指導と助言 を行う。指導及び助言とは、指導 者への指導法等の伝達及び助言、 児童生徒への直接指導、指導者研 修会等での指導及び助言や実地指 導である。 活動プログラムは、自然の家ホーム ページにて「指導者養成～ぼん じゅ出前講座～」プログラム一覧 参照

(3)親子事業

【事業目的及び概要】

親子や仲間とのふれあいを深めながら自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度を育てることを目的として、施設周辺の恵まれた自然環境を活かした多様な体験活動を行う事業である。

【事業内容】

活動名	期日	対象	募集人員	内容
春を楽しむサン d a y ～春の息吹を 五感で感じよう～	4/30(月)	小・中学校の 児童生徒と その保護者	40名	自然観察、竹炭作り
ファミリーキャン プ 家族 day 野外 炊事！ ～ダッチオープン に挑戦してみませ んか～	9/8(土) ～9(日)	幼児～中学 生とその保 護者	18家族 80名	野外活動体験、ダッチオープンに よる野外炊事、キャンプファイヤ ー、テント泊、創作活動

活動名	期日	対象	募集人員	内容
自然体験ぼんじゅフェスタ	10/14(日)	小・中学校の児童生徒とその保護者及び自然体験活動に関心のある方	各プログラムによっては定員あり。	ダッチオープン体験、せんべい焼き体験、本格リース作り、自然物を使った創作ブース、木材を使った創作ブース、フリー体験ブース、遊びのコーナー、野外活動他
本格門松をつくる	12/15(土)・12/16(日) 【即日2回 両日とも同内容】	小・中学校の児童生徒とその保護者及び一般の方	220名 うち一般の方の参加は40人まで	本格門松づくり(土台作り、飾り付け)
冬にとびだそう ～親子で白銀の世界へ～	2/2(土)～3(日)	小・中学校の児童生徒とその保護者	13家族	雪のテーブル作り、雪灯籠作り、炊事「おでん鍋」、夜の雪灯籠祭り、思い出クラフト、チューブそり遊び

種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業(自然と遊ぼう、子どもの祭典)902千円

【事業目的及び概要】

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもに育てることを目的として、山野や海での自然体験活動や野外でのキャンプ活動、創作活動等さまざまな活動を体験する機会を提供する事業である。

【事業内容】

①自然と遊ぼう

活動名	期日	対象	募集定員	内容
たねさしワールド 「春を感じて」	5/13(日)	小・中学生とその保護者	100名	春の自然を楽しもう ・潮風トレイルの散策、創作活動 等
たねさしワールド 「エンジョイ！ 海遊び」①② ※2回開催	7/1(日)		100名	海で思いっきり遊ぼう ・いかだやカヌー遊び、サンドクラフト作り、磯遊び 等
	7/8(日)		100名	
たねさしワールド 「秋を感じて」	10/14(日)		100名	秋の自然を楽しもう ・自然に親しむゲーム、創作活動 等
たねさしワールド 「つくって新発見」	12/2(日)		100名	正月飾りを作ろう ・ミニ門松づくり 等
たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催	1/26(土)	4歳以上の幼保・小・中学生とその保護者	100名	冬の自然を楽しもう ・スノーチューブすべり、そり遊び、スノークラフト作り 等
	1/27(日)		100名	
たねさしワールド 「こども大作戦」	2/9(土)～10(日)	小3年～4年	40名	子どもだけで泊まって楽しもう ・仲間づくり、レクリエーション、夜の森

活動名	期 日	対象	募集 定員	内 容
①② ※2回開催	2/16(土) ～17(日)	小1年～ 2年	40名	探検、創作活動 等

②子どもの祭典

活動名	期 日	対象	募集 定員	内 容
おいでよ！ サマーキャンプ	8/7(火) ～10(金)	小5年 ～中3年	30名	・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・海での活動 等
わくわくどきどき ウィンターキャン プ	12/25(火) ～27(木)	小5年 ～中3年	20名	・冬の野外テントでの宿泊体験 ・冬の自然体験 ・森での活動等

自然体験活動支援事業 257千円

〔事業目的及び概要〕

学校や公民館、児童館などの身近な野外活動場所で、子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動や創作活動の実地支援を行う。また、自然体験活動や創作活動の指導者の資質向上を図ることを目的として、小中学校及び関係機関等の指導職員を対象に行う研修事業である。

〔事業内容〕

活動名	期 日	対象	募集 定員	内 容
自然体験活動 出前講座	4・5月及び 10月～3月 *6月～9月 は原則とし て実施なし	三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、青少年団体 や成人団体 等	1団体 10人 以下可	・種差少年自然の家のプログラムの中 で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、動物 マグネット、貝がらアート等)
自然体験活動 研修会	6/2(土) ～3(日)	幼・小・中学校教員、 高校・大学生、児童 館など関係機関の 指導者、その他自然 体験活動に興味の ある方	30名	・アドベンチャーゲームや野外活動 ・野外炊事や創作活動等のプログラムの 実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練等

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

種差少年自然の家を利用する小・中学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/23(月)～24(火)

○場所：種差少年自然の家

○対象：平成30年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

[事業内容]

- 講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方
- 実習：活動プログラムの実習(野外、自然、創作活動、夜の活動)、施設等の利用方法
- 演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

親子で学ぶ防災キャンプ事業 197 千円

[事業目的及び概要]

避けることのできない自然災害に遭遇したとき、災害時における実践的な防災力を育むことを目的として、小・中学生の家族を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

活動名	期 日	対象	募集 定員	内 容
「親子の絆」 防災キャンプ	9/22(土) ～23(日)	小・中学生と その保護者	13組 40名	・常設テントで宿泊体験 ・野外炊事 ・避難用グッズづくり 等

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

生涯学習課

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P8 (1)学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

総合社会教育センター

パワフルAOMORI! 創造塾 1,388 千円

〔事業目的及び概要〕

新たな地域活動者の発掘・育成を行うとともに、仲間づくりの促進やネットワークの形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

〔事業内容〕

(1) 期日

- 第1回 7/21(土)～7/22(日)
- 第2回 8/18(土)～8/19(日)
- 第3回 10/20(土)～10/21(日)
- 第4回 12/ 1(土)

(2) 場所

- 第1～3回 県総合社会教育センター、青森公立大学国際交流ハウス(各回1泊2日)
- 第4回 県総合社会教育センター

(3) 対象

- ・地域を元気にしたいという想いのある者
- ・地域活動を実際に企画運営している者、または今後行う予定のある者
- ・大学、企業、NPO、市町村職員等の地域活動に関わる関係者

※原則全回出席できる者

(4) 募集人数 20名程度

(5) 受講料

無料(但し、交通費や宿泊費等は自己負担とする。)

(6) 内容

- 講師による講義・演習のほか、グループによるディスカッション
- 地域活動を企画運営する「実践活動」
- 研修成果に係る発表会

公民館等の防災・減災教育機能強化事業 1,700 千円

〔事業目的及び概要〕

公民館等が災害時に避難所になることが多いことを受け、公共施設職員や地域関係者を対象としたセミナーを開催し、避難所開設に関わるスキルアップをめざしながら、地域住民参加による自主防災組織などの協力体制の構築と、「小さな拠点づくり」に寄与する公共施設としての役割を担えるよう支援することによって、公民館を中心とした地域づくりに資する事業である。

〔事業内容〕

○期日：6月～12月

○場所：県総合社会教育センター他、県内11市町村

○対象：公民館職員、地域の公民館関係者(町内会、自主防災組織等)、市町村公民館等関係部局、公共施設(学校、福祉施設等)関係職員、市町村防災部局職員、市町村社会福祉協議会職員他

○内容：避難所運営ゲーム(HUG)を活用した実践的な避難所運営訓練等

生涯学習・社会教育関係職員研修講座	700 千円
-------------------	--------

[事業目的及び概要]

生涯学習・社会教育関係職員及び関係団体職員等の資質向上のため、業務遂行に係る基礎的・実務的な研修を行うとともに、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技能の習得と人財育成を目的とした研修を行い、ネットワーク形成を図る事業である。

[事業内容]

(1) 新任職員研修

○期日：前期…5/18(木) 後期…9/14(金)

○場所：県総合社会教育センター

○回数：2回

○対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係新任職員や関係団体等の新任職員等

○内容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得

※センター研修と兼ねて実施 前期…第1回 後期…第6回

(2) センター研修

○開催時期：5月～9月

○開催回数：6回(県総合社会教育センター 定員各30名)

○対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等

○内容：第1回…5/18(木) 社会教育行政が担う役割

第2回…6/7(木) パワーポイントを使ったチラシづくりの実践(※定員20名)

第3回…7/11(水) 地域活動における「地域学校協働活動」との関わり

第4回…7/26(木) プレスリリースと交渉

第5回…8/20(月) 協働によるまちづくり

第6回…9/14(金) 事業計画と評価・改善について

(3) 地区研修

○開催時期：5月～8月

○開催回数：6回(1回×6地区 教育事務所単位)

○対象：市町村教育委員会の生涯学習・社会教育関係職員や関係団体等の職員等

○内容：各地区の地域課題に即した実践的な知識・技能の習得と人財育成

東青…7/11(水) 地域活動における「地域学校協働活動」との関わり

西北…8/20(月) 協働によるまちづくり

中南…6/21(木) 生きることと教育の本当の意味とは

上北…5/24(木) 地域課題に向き合った社会教育活動

下北…5/29(火) 地域全体で子どもを育む活動の充実

三八…8/28(火) 地域づくりにおけるネットワーク形成

※センター研修と合同開催 東青…第3回 西北…第5回

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

生涯学習課

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業 575 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校(特別支援学校)の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

〔事業内容〕

特別支援学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

- 実施予定校数：6校
- 対象：一般県民(小中高生を含む)

総合社会教育センター

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 914 千円

〔事業目的及び概要〕

自己の生き方や働き方について考えたり人生設計したりするための学習を、県民の誰もがいつでもどこでも手軽にできることを目的として、インターネットによる講座の配信を行う事業である。

〔事業内容〕

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人 PowerUp コンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) あおもり子育てネット

学習情報の収集・提供事業 7,118 千円

〔事業目的及び概要〕

県民の学習活動を支援することを目的として、各種学習情報を収集し、インターネットにより県民に提供するとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
4情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理
青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 525 千円

〔事業目的及び概要〕

16mmフィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 全国視聴覚教育連盟への加入
- (4) 視聴覚教材の購入
- (5) 視聴覚教材のデジタル化業務

あおもり県民カレッジ運営業務

〔事業目的及び概要〕

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習

し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する事業である。

【事業内容】

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応
学生募集、学生証の交付、単位認定
 - イ 連携機関への対応
登録受付、連携機関連絡会議の開催、タイアップによる講座・イベント開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 普及啓発情報収集
連携機関等への取材、社会参加に関する情報の収集
 - ウ 生涯学習HPの作成
- (3) 学習情報提供・学習相談
 - ア 学習相談
 - イ 学習情報提供
学習機会情報・活動機会情報の収集及び提供
 - ウ 情報紙「てのひら」作成
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座開催
県内6地区にて開催
 - イ ボランティア自主講座の開催(社会参加活動支援)
 - ウ ボランティア活動支援機関連絡会議の開催
 - エ 「カダイ」は「マナビ」のチャンス！YOU 遊トライアル運営
- (5) 評価サービス
 - ア 県民カレッジ学生への評価サービス

インフォメーションプラザありすの運営

【事業目的及び概要】

インフォメーションプラザありす(学習情報サービス室)は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、図書資料等の閲覧サービス等の業務を行う。

【事業内容】

- (1) 窓口対応
- (2) 社会参加活動の事例紹介とマッチング
- (3) 視聴覚教材貸出サービス
- (4) ポスター、チラシ、図書資料等の展示

ボランティア活動支援機関連絡会議

【事業目的及び概要】

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

【事業内容】

- (1) 期日：4月～5月
- (2) 会場：県内6地区
- (3) 内容：各機関の活動状況等について

県立図書館

近代文学館 特別展開催事業 2,099千円

【事業目的及び概要】

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：特別展「平成の青森文学」
 (2) 会期：7/14(土)～9/24(月)
 (3) 内容：展示、文学講座、パネル展を実施する。
- 展 示 明治、大正、昭和と、その時代時代に数多くの個性豊かな文学者を輩出してきた青森県。その風土から生み出され受け継がれた「青森文学」の伝統が、平成の世にどのような形で流れ込んだのかを、平成 30 年間における青森文学の展開を概観することで浮かび上がらせる展示を開催。
 - 文学講座 関係者・研究者等を招き、文学講座を開催する。第 1 回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第 2 回は、県内文学研究者等による講座を実施。
 - パネル展 若い世代や遠隔地の県民へのサービスとして、特別展終了後に展示内容を再構成したパネルを作成し、学校・公共施設等でパネル展を開催。

近代文学館 企画展開催事業 763 千円

〔事業目的及び概要〕

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 「太宰治没後 70 年—秘蔵資料大公開—」
 ○会期：10/27 (土)～1/14(日)
 ○内容：太宰治(1909～1948、現五所川原市出身)は 1936 年に第一創作集『晩年』を出版。1940 年には「走れメロス」を発表。戦時中も『津軽』や『お伽草紙』等の名作を生み出し、戦後は『斜陽』がベストセラーとなった。1948 年「人間失格」連載中の突然の逝去から 70 年を経た今、当館で所蔵する太宰資料の数々を公開し、その生涯と業績を振り返る展示を開催。
- (2) 「13 人の書画展」
 ○会期：2/23 (土)～5/19(日)
 ○内容：常設展示している 13 人の作家がかいた「書画」を展示する。作家たちの個性は、筆跡や色づかいとなって「書画」に表れる。貴重な直筆「書画」を通して、作家たちの新たな魅力を発見する展示を開催。

アウトリーチサービス推進事業 221 千円

〔事業目的及び概要〕

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・FAXにより希望図書の申込みを受け、宅配便を利用して貸出・返却を行う。(4/1(日)～3/31(日))

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 1,068千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習振興法(生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律)の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

〔事業内容〕

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

第13期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(H28/8/21～H30/8/20)

○方針：県及び県教育委員会が実施する生涯学習・社会教育関連事業について調査し、生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。

○審議テーマ：「あおもりで若者が集い、生き生きと活躍できる持続可能な地域社会づくり」

○会議等の予定：第6回(6月)、報告書提出(8月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,143千円

〔事業目的及び概要〕

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔事業内容〕

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：(仮)「生涯学習・社会教育に関する県民の意識調査」

○調査対象：一般県民3,000人

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

○報告書：100部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の運営 734千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔事業内容〕

第33期青森県社会教育委員

○委員：12名(うち、専門部会委員4名)

○任期：2年(H28/10/19～H30/10/18)

○第33期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ

「人口減少下における地域コミュニティ形成のための行政と民間の新たな連携・協働の在り方」

○会議の概要

第4回専門部会

5/31(木)：調査研究報告書(一次案)について

第5回専門部会 7月中旬：調査研究報告書(二次案)について
 第5回全体会 8月下旬：調査研究報告書(最終案)について
 調査研究報告書提出 10月上旬：議長・副議長から県教育長へ提出

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 262 千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「平成30年度青森県の社会教育行政」の作成配付(600部作成予定)

社会教育主事派遣事業 8,512 千円

〔事業目的及び概要〕

町村等の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村等教育委員会に派遣する事業である。

〔事業内容〕

○派遣先 上北地方教育・福祉事務組合 派遣者数 1名

社会教育主事有資格者育成派遣事業 740 千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣研修 社会教育主事講習(岩手大学) 研修期間(予定) 7/17(火)～8/9(木)

生涯学習専門講座派遣事業 182 千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習の進行において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

- 派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
- 講座名 社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
- 派遣人数 各1名

社会教育主事等一般研修 154 千円

〔事業目的及び概要〕

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

研修会の開催 年2回(予定)

北海道・東北ブロック生涯学習・社会教育主管課長会議開催費 118 千円

〔事業目的及び概要〕

北海道・東北各県の生涯学習・社会教育主管課長等が一堂に会し、講話研修及び情報交換を行い、関係者の資質・能力向上、今後の社会教育行政の推進に資する。

〔事業内容〕

- 期日 8/30(木)～8/31(金)
- 場所 青森市(ラ・プラス青い森)
- 日程 (1日目) 講話研修(中央講師：文部科学省職員等)、研究協議・情報交換

第60回全国社会教育研究大会開催費 1,773千円

〔事業目的及び概要〕

全国の社会教育委員及び東北各県の公民館職員等社会教育関係者が一堂に会し、各地における活動状況や研究成果等について協議及び情報交換を行い、社会教育の一層の振興を図る事業である。

〔事業内容〕

- 期日 10/24(水)～10/26(金)
- 会場 リンクステーションホール青森、青森国際ホテル
- 参加者 都道府県・政令指定都市・市区町村の社会教育委員及び社会教育関係職員、公民館職員、社会教育関係団体、その他生涯学習・社旗教育に関心のある方
- 内容 10/24(水) 全国社会教育委員連合理事会、都道府県・政令指定都市社会教育委員連絡協議会事務局担当者会議
- 10/25(木) 東北社会教育委員連絡協議会理事会、全国社会教育委員連合総会
大会内容
アトラクション、開会行事・表彰、記念対談、シンポジウム、閉会行事
- 10/26(金) 分科会

在学青少年育成費補助事業 359千円

〔事業目的及び概要〕

青少年教育の機会拡充により一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

- 東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とした講演会事業に助成する。
- 内容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。
- 実施場所：県内高等学校6校
(五所川原高等学校、金木高等学校、三本木高等学校、三沢高等学校、八戸中央高等学校、八戸水産高等学校)

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業(再掲)

(P25 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

総合社会教育センター

ボランティア関係者ネットワーク形成セミナー 220千円

〔事業目的及び概要〕

ボランティア関係者の資質の向上及びネットワークの構築を目的としたセミナーを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実を目指す事業である。

〔事業内容〕

- 期日：(青森地区)11/27(火)、(弘前地区)11/29(木)、(八戸地区)12/4(火)
- 場所：(青森地区) 県総合社会教育センター
(弘前地区) 弘前市民会館
(八戸地区) 八戸市総合福祉会館
- 対象：各市町村教育委員会及び首長部局職員、各市町村社会福祉協議会職員、市町村ボランティア連絡協議会、各市町村ボランティア活動支援機関職員(ボランティアセンター、ボランティア活動支援センター等)、青森県民カレッジ連携機関、NPOボランティア関係団体等
- 内容：講義、事例発表及び情報交換を行い、参加者の専門性と資質の向上を図るとともに、参加者同士のネットワークを構築する。

公民館等の防災・減災教育機能強化事業(再掲)

(P25 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲)

(P26 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県立図書館**県立図書館資料整備 63,037 千円****[事業目的及び概要]**

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

[事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 58,541 千円

近代文学館 4,496 千円

市町村立図書館等職員研修事業 245 千円**[事業目的及び概要]**

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、初任者研修、実務研修、テーマ別研修及び提案型研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために青森県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

[事業内容]

- (1) 県立図書館事業等担当者会議 年1回 5/10(木)
- (2) 初任者研修 年2回 5/23(水)・6/28(木)
- (3) テーマ別研修 年1回 6/13(水)
- (4) 実務研修 年1回 11/13(火)
- (5) 提案型研修 年1回 期日未定